






入院診療計画書「扁桃周囲膿瘍または扁桃炎の治療を受けられる

さんへ」

(病名) (症状) (説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族) 確認サイン

経過 月日	入院時 /	入院2~7日目 / ~ /	退院時 /
到達目標	喉の痛みが緩和され、食事を摂取することができる。		
治療 処置	入院中は病棟の診察室で、診察があります。 診察室で吸入を朝夕2回退院まで行います。(7時、19時) 感染予防のため、1日4回(毎食後、寝る前)うがいをしましょう。 切開して膿を出す処置をした場合、毎日診察時にガーゼの入れ替えがあります。 ※ガーゼが抜けた時はすぐにお知らせ下さい。		退院前に診察があります。
手術	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (術式: )		
検査	身長・体重を測ります。 必要に応じて採血など行います。	必要に応じて採血など行います。	→
薬剤 服薬指導	日頃飲んでいる薬があれば、お知らせ下さい。 薬アレルギーや副作用があれば、お知らせ下さい。 毎食前に痛み止めを内服します。 持続点滴・抗生物質の点滴が始まります。 薬剤師が薬の説明を行います。	食事が入るようになれば、維持点滴を抜去します。 抗生物質の点滴があります。1日2回(10時、16時) ( / )まで	抗生物質の内服薬に変更します。 ( / ~ / まで) 
全身管理 症状	体温・脈拍・血圧などを測ります。(10時・18時) 今までの経過や合併症などについて伺います。 喉の痛みや食事量を伺います。 夜眠れない時や痛みが我慢できない時には、お知らせ下さい。	体温・脈拍・血圧を測ります。 喉の痛みや食事量を伺います。 	→
食事 栄養指導	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 必要に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。 普通食か治療食です。 痛みの状態に合わせて、食事形態を変更していきます。 プリンなど食べやすいものを間食してもかまいません。	希望食か治療食です。 痛みの状態に合わせて、食事形態を変更していきます。	希望食か治療食です。
安静	制限はありません。身体がきつい時は、車椅子等で移動助します。 		制限はありません。
清潔	シャワー浴や入浴、または身体を拭きます。(3回/週)※男性(月水金)、女性(火木土) 感染予防のために、うがい手洗いをしましょう。(毎食後、寝る前)		入浴できます。
患者・家族 への説明	入院診療計画書について説明します。 医師の指示があるまで禁煙に努めて下さい。 治療・福祉などの相談がある場合は、 看護師か相談員にお尋ねください。	病状の経過については診察時などに適宜説明致します。 ご不明な点は主治医にお尋ね下さい。 	退院後の生活について指導します。 原則として退院は午前中 にお願い致します。 

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

( 病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名

担当者署名